

環境 KANKYO NIKKO

につこう

No.4
2010/4

発行 日光市役所市民環境部環境課
〒321-1292
今市本町1番地(本庁第4庁舎1階)
TEL 21-5152 FAX 21-2089
Eメール kankyou@city.nikko.lg.jp



環境家計簿を継続してつけること



環境家計簿の効果は？

家庭で使用したエネルギー量（電気・ガス・ガソリン・灯油など）から、排出した二酸化炭素が簡単に算出できるものです。電気や灯油料金の領収書を参考に、表1を使って計算してみましよう。みなさんのご家庭がどのくらいの二酸化炭素を排出しているか一目でわかります。



環境家計簿とは？



地球温暖化防止のためには、温室効果ガスである二酸化炭素の排出量を減らすことが必要です。目に見えない二酸化炭素を減らすために、環境家計簿をつけてみましょう。環境家計簿をつければ、家庭で使うエネルギーから排出される二酸化炭素の量が分かります。

次のページでは、モニターによる環境家計簿の結果を紹介します。

により、生活のなかで、いつ、どれだけ二酸化炭素を排出しているかを実感することができます。また、光熱費を一緒に記録すると、家計に占める光熱費の割合が、思っているより高いことがわかります。光熱費の節約⇨二酸化炭素排出量の削減。環境家計簿をつけて省エネを心がけることは、地球にも家計にも優しいライフスタイルへの第一歩なのです。

※環境家計簿（エクセル版）は、市のホームページからダウンロードできます。

表1 環境家計簿（排出係数は平成19年度のものの）

項目	使用量	単位	排出係数	排出量 (kg)	金額 (円)
電気		kWh	×0.425	=	
ガス		m3	×6.6	=	
ガソリン		L	×2.32	=	
灯油		L	×2.49	=	

※排出係数は変動することがあります。

二酸化炭素1kgは サッカーボール100個分！

環境家計簿では、排出される二酸化炭素がkgで算出されます。1kgの二酸化炭素は、サッカーボール100個分の体積。ちなみに、国民1人当たりが排出している量は1日6kg。私たちは、毎日サッカーボール600個分もの体積の二酸化炭素を排出しています。



環境家計簿モニター 結果

環境家計簿モニターを広報紙などで募集し、ボランティアで2年間環境家計簿をつけていただきました。

期間

平成19年（平成19年10月から平成20年9月）と平成20年（平成20年10月から平成21年9月）

表2 1世帯あたりの削減効果（年間比）

項目	年間CO ₂ 削減量	年間光熱費削減額
電気	-193 kg	-7,816円
ガス	-9 kg	-796円
ガソリン	-89 kg	-36,848円
灯油	-412 kg	-30,663円
合計	-703 kg	-76,123円

項目 電気・ガス・ガソリン・灯油

モニター数 9世帯に依頼

主な結果

二酸化炭素排出量と光熱費の削減効果

平成19年と比較して、平成20年では、1世帯あたりの二酸化炭素の年間排出量の平均と光熱費に全項目で削減効果がありました（表2参照）。

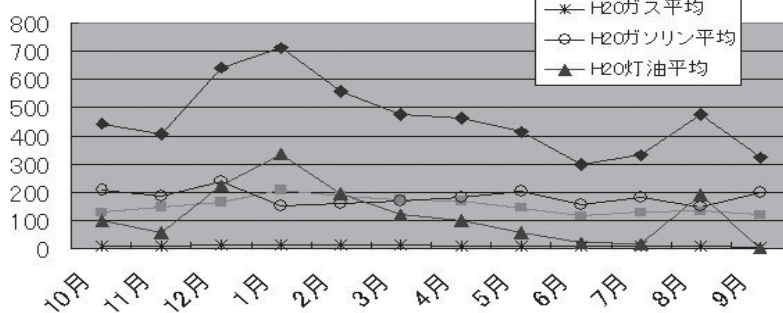
- 世帯平均で、前年と比べて二酸化炭素が703kg削減されました。
- 世帯平均で、前年と比べて光熱費が76,123円削減されました。

月別の二酸化炭素排出量の変化

1世帯あたりの二酸化炭素排出量の平均を月別に見ると、灯油や電気を多く使用する冬に全体合計が多くなっています。また、春に減少していった排出量が、夏にかけて全体的に増加していくことがわかります（表3参照）。

二酸化炭素の削減効果を期待するには、特に冬季と夏季に省エネを心掛ける必要があることがわかります。

表3 1世帯あたりの月別CO₂排出量（平成20年：単位kg）



モニターからの意見

- ◇環境家計簿をつけて気づいた点
- 難しいのは最初の3カ月まで。慣れてくると体が覚えて苦にならない。
- 省エネを常に心がけていれば、きちんと結果は出るということを感じた。
- ◇取り組んでみて効果があった二酸化炭素削減方法
- 夜はリビングだけ電気をつける。
- 待機電力はいっさい使わず、こまめに電気を消す。
- 冬場は着るもので調整し、雨戸やカーテンを早めに閉める。
- 湯を使わずゴム手袋で洗い物をしてボイラー（灯油）使用を控える。

環境家計簿をつけてライフスタイルを見直すと、自然と省エネにつながり、1世帯で年間7万円以上の光熱費削減も夢ではないことがわかりました。

みなさんも、光熱費の節約とエコライフを目指して、環境家計簿に取り組んでみませんか。



市で処理するごみの約半分が生ごみです

生ごみの水切りにご協力ください！

生ごみは水分を多く含んでいるため、焼却処理に多くの時間と費用がかかります。広報にっこう2月号と一緒に配布した「生ごみ水切り器」を使って生ごみの水をよく切り、生ごみの減量化にご協力をお願いします。

※「生ごみ水切り器」は環境課及び各総合支所市民福祉課窓口でも配布しています。

▼ 配布した生ごみ水切り器

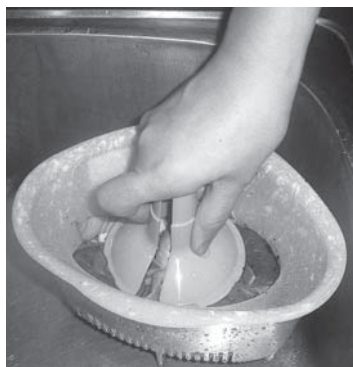
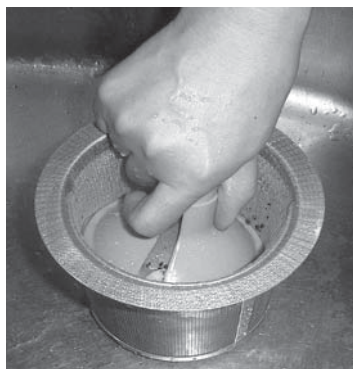


生ごみ水切り器の使い方

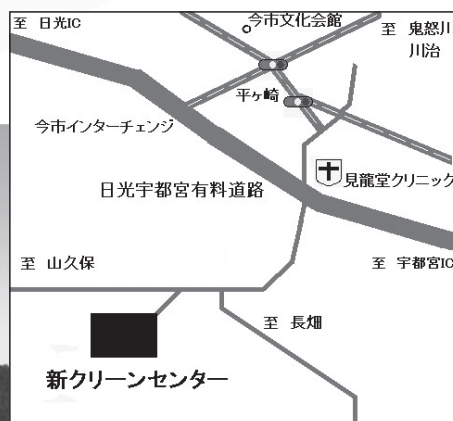
上段) 水切りネット切り込みにネットを差し込み押さえつける。

中段) 排出口かごたまった生ごみを上から押さえつける。

下段) 三角コーナーたまった生ごみを上から押さえつける。



▶ 新クリーンセンター案内図



市では今市地域の千本木地内において、新しい可燃ごみ処理施設を建設しています。7月からの本格稼働に向け工事最終段階に入りました。施設の建設はほぼ完了し、4月からは実際にごみを焼却しながら試験運転を行います。これに伴い、ごみの分別方法や持込先が変更となります。詳しくは裏面をご覧ください。

新クリーンセンターの試験運転に入りました

捨てないで、ルールを守るその気持ち

4月から、ごみの分別方法や収集回数が変更になる地域があります。お間違えのないようご注意ください。
ごみ出しのルールを守って、きれいなまちづくりにご協力ください。

ごみ処理施設を統合します

新可燃ごみ処理施設「日光市クリーンセンター」がほぼ完成し、試験運転を始めました。これに伴い、燃えるごみは日光市クリーンセンターへ、燃えないごみや資源物、粗大ごみなどは日光市リサイクルセンター（現今市クリーンセンター）へ処理施設を統合します。

日光クリーンセンターと藤原クリーンセンターにはごみの搬入ができませんので、ご注意ください。

ごみ分別方法を統一します

4月から下表のとおり、ごみの分別方法と収集回数を統一します。
ごみ処理施設やごみの出し方などについて詳しくは、広報にっこう3月号と一緒に配布した「ごみの分け

ごみステーションは清潔に

家庭から出るごみをまとめて置く場所を、ごみステーションと呼んでいます。ごみステーションは地域の共同施設です。ごみ出しのルールを守り、使用する人すべてが気持ちよく使えるよう、清潔に管理しましょう。また、転入した方とも共用していただくようお願いいたします。

ごみは朝8時30までに

ごみの収集時刻は、その日の天候やごみ量、種類、また交通事情などによって異なります。必ず決められた日の朝8時30分までに出し、ごみステーションにごみが残らないようにしましょう。



◆ごみの分別一覧表（ステーションに出せるもの）

平成22年4月から

種類	対象になる主なもの	出し方	収集回数
燃えるごみ	生ごみ、革・布・木・ゴム・ビニール製品、リサイクルできない紙	透明・半透明の袋	週2回
燃えないごみ	陶磁器、ガラス、小型家電製品、化粧品、びん、乾電池	今市地域：透明・半透明の袋 その他の地域：コンテナ	月1回
資源物	缶、ビン（金属のキャップは燃えないごみ）、ペットボトル（キャップとラベルは燃えるごみ）	コンテナ	月2回
資源古紙	新聞紙、雑誌、その他の紙類、紙パック、段ボール	種類ごとに紐で縛る	月1回

◆分別方法・収集回数の変更点

平成22年4月から

地域	分別方法の変更点	収集回収の変更点
今市地域	ペットボトル → ラベルははがし燃えるごみ	変更はありません
日光地域	古布 → 燃えるごみ 缶・ペットボトル → 資源物	燃えないごみ → 月2回から月1回へ びん → 月1回から月2回へ
藤原地域	缶・びん → 資源物	燃えるごみ → 週3回の地区が週2回へ 燃えないごみ → 月2回から月1回へ 資源古紙 → 月2回から月1回へ
足尾地域	変更はありません	変更はありません
栗山地域	変更はありません	資源古紙 → 月2回から月1回へ